

# 社会学Ⅰ

科目ナンバリング SOC-101  
【Ⅳ】 選択 2単位

藤本 龍児

## 1. 授業の概要(ねらい)

社会学を学ぶ意義はどこにあるのでしょうか？

社会学は、政治学、経済学、法学などと同様に「社会科学」のうちの一つです。社会学の意義を原理的に理解するには、社会科学について理解しておかなくてはなりません。

本講義では、社会思想史の観点から、特に近代社会に焦点をあて、社会科学の成立や意義を論じます。そうすることで、社会学や社会科学の役割を確認するとともに、それらの問題点や課題を明らかにします。

## 2. 授業の到達目標

- ・社会科学を歴史的観点から理解し、成立の背景を理解する。
- ・社会科学を近代社会のなかに位置づけ、その意義を理解する。
- ・社会学を社会科学の一つとして位置づけ、その特徴を説明できる。

## 3. 成績評価の方法および基準

- ・原則として8割以上の出席を前提とする。
- ・適宜おこなう感想文の提出を必須とする。
- ・試験で講義内容とテキストにかんする理解度を問う。
- ・以上に授業態度をくわえ、総合的に判断して成績評価をおこなう。

## 4. 教科書・参考文献

教科書

藤本龍児 『アメリカの公共宗教：多元社会における精神性』2009年 NTT出版

## 5. 準備学修の内容

この講義には、特別な前提知識は必要ありません。

## 6. その他履修上の注意事項

この講義だけで一つのまとまりをもっていますが、続けて社会学Ⅱを履修することが望ましい。

講義は以下のような内容を計画しています。ただし、受講者の理解や関心に応じて柔軟に改変していきます。

## 7. 授業内容

- 【第1回】 はじめに：社会思想史から見る社会科学
- 【第2回】 古代における「社会」：プラトン、アリストテレス
- 【第3回】 中世における「社会」：アウグスティヌス、アキナス
- 【第4回】 ルネッサンス(近代社会の準備)：人間中心主義の勃興
- 【第5回】 宗教改革(世俗社会の自律)：ルター、カルヴァン
- 【第6回】 科学革命(自然科学の発生)：デカルト
- 【第7回】 市民革命(民主社会の準備)①ホブズ
- 【第8回】 市民革命(民主社会の準備)②ロック
- 【第9回】 市民革命(民主社会の準備)③ルソー
- 【第10回】 ウェストファリア条約(主権国家の登場)：グロティウス
- 【第11回】 産業革命(市場社会の展開)①アダム・スミス
- 【第12回】 産業革命(市場社会の展開)②マルクス
- 【第13回】 第一次世界大戦(現代社会の形成)：西欧中心主義の崩壊
- 【第14回】 ヨーロッパの近代化と合理化：ウェーバー
- 【第15回】 まとめ